

1. 第3次総合計画における施策の体系								
目指す都市像 (政策)	番号	7	名称	快適な生活を育むまち				
施策	番号	7	名称	緑豊かな憩いの場の整備				
主担当部	まちづくり部		主担当課	都市整備課		部長名	中尾 至宏	
関係部	総合政策部、市民文化部		関係課	千塚周辺整備課、文化・スポーツ課				
この施策の目的	都市における緑のオープンスペースとしての公園・緑地の整備を進める。また、広域避難地に対応した防災機能の強化や多様な市民ニーズに応えた特色ある公園緑地の整備を推進するとともに、既存公園については施設等のバリアフリー化や長寿命化の再整備を含め、地域住民が愛着をもって緑に触れ合う機会を持てる公園整備を図る。							
3. 施策の現状分析(第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する)								
この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、 具体的な事項について			社会環境や国・県の動向など、 施策を取り巻く環境について				
	市には、大和三山、参道の森、新沢千塚古墳群等、緑の自然環境が多くあるが、市民意識調査によると、都市公園の面積・数・広さ等に対する市民の満足度は低い。都市のオープンスペースとしての公園、緑地の整備を進めているが、その機能だけではなく、災害時の避難所や防災拠点等の機能を併せ持つことが求められている。			都市のオープンスペースとして、災害時の避難所や防災拠点等への対応、また、老朽化した公園施設の長寿命化や、バリアフリー対策等多様なニーズに応えられる施策が国により提案・実施されている。				
これまでの成果	幅広い年齢層にも対応した安全で安心な公園整備を進めてきた。							
4. 指標及びコストの推移								
	名称及び単位等	23年度	24(評価)年度		25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	備考欄
		実績	目標	実績	目標	目標	目標	
指標の推移	施策指標① (成果指標)	地域住民と維持管理協定を締結した公園数	69%	80%	68%	80%	80%	協定数/公園等数 H23 162/235 H24 163/238
	施策指標② (成果指標)	市民1人当たりの都市公園等の面積	7.02㎡	7.50㎡	7.25㎡	8.00㎡	8.50㎡	9.00㎡
	施策指標③ (成果指標)							
	施策指標④ (成果指標)							
	施策指標⑤ (成果指標)							
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	見込み
	歳出 (直接事業費)(a)		439,785	621,512	534,573	691,132	956,604	
	歳入 (b)	受益者負担額						
		国や県からの補助金その他	123,882	256,609	216,674	460,072	633,851	
	(a) - (b) = 一般財源		315,903	364,903	317,899	231,060	322,753	
	正職員	従事者数 (単位:人)	12.15	13.95	13.95	14.15	14.15	
		人件費(c)	76,108	86,532	86,532	87,772	87,772	
トータルコスト (a) + (c)		515,893	708,044	621,105	778,904	1,044,376		

5. 施策の評価						
有効性の評価	この施策の成果の達成度はどうか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の可能性はどうか	1	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	目標値に対して実績値はやや低いものの、最終的な目標値に向け数値は順調に推移している。最終目標値の達成のためには新沢千塚古墳群公園及び榎原運動公園の事業の進捗状況に因る部分が大きく、事業が順調に進んでいる現在、施策成果向上の可能性は非常に高い。				
	市政全般に対する貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	主要公園に対する整備は着実に進んでおり、満足度の向上に貢献しているといえる。また、今後は利用率が高く、身近な公園を市民のニーズに対応して改築・更新を図ると共に、市民との協働による公園の維持管理についても一層進めていきたい。				
6. 施策の課題						
この施策の課題	各公園の規模、特色にあわせ、多機能に利用できる公園整備を推進していく。また、維持管理や緑化の推進等、住民のニーズに合致したソフト面の充実が必要である。特に身近な街区公園、近隣公園等については、自治会、NPO等との市民協働により整備を進めていき、公園に対する市民の満足度の向上を図っていく。					
7. 次年度以降の施策の方向性						
総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	2	1 強化する	2 維持する	3 縮小する	
	説明	現在工事中の榎原運動公園の竣工を目指すとともに、植山古墳公園、新沢千塚古墳群公園の整備をより一層進めていく。 また、老朽化が進む公園の長寿命化をはかり、遊具の改築・更新を行う。さらに、市民との意見交換をはかり、維持管理における市民協働の意識向上に努める。				
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する	
	説明					
8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する）						
1次評価	説明	市民が親しめ、安全安心で防災性の高い都市公園の整備を進める。 協働の考え方のもと、市民とともに、適正な維持管理・運営を行っていけるよう取り組みを進め、あわせて、環境緑化の意識向上を図るものとする。 また、都市公園を憩いの場、スポーツ、レクリエーションの場として、また、観光、文化の場としての活用も目指していく。				
2次評価	説明					

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

※下記評価の解説

- ・貢献度－事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。  
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性－事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。  
(拡大する、見直しながらかつ続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)－施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。  
(優先度が高い順に A、B、C、D)

(ソフト事業、内部管理・維持管理事業)

課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類 (転記)		事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
						貢献 度	方向 性	優先度 (ソフト任意)
文化・スポーツ課	○	ソフト 義務	公園の維持管理 1. 芝生及び樹木の剪定等 2. 修景池及び噴水池の循環施設の維持管理 及び清掃 3. 複合遊具・多目的広場・駐車場等の維持管理	3,063	2	b	見直しなが ら続ける	
東竹田近隣公園管理 運営事業		ソフト 任意						
	○	内部管理・維 持管理						
課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類 (転記)		事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
都市整備課	○	ソフト 義務	指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウ による運営・サービス向上及び自主事業を実施 することでスポーツの振興等を図る。	63,890	2	b	見直しなが ら続ける	
榎原運動公園管理運 営事業		ソフト 任意						
		内部管理・維 持管理						
課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類 (転記)		事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
都市整備課	○	ソフト 義務	市内238ある公園・緑地等の草刈り、樹木剪定 業務、遊具の点検、修理等を実施する。また、 地元自治会と公園管理協定をすることで日常の 簡易な清掃・草引き等を、地元自治会等で取り 組んでいただき、市民と協働して公園の維持管 理を行う。	65,998	2	b	見直しなが ら続ける	
児童公園管理事業		ソフト 任意						
		内部管理・維 持管理						
課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類 (転記)		事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
都市整備課		ソフト 義務	緑化樹養成所において、苗木の育成及び、植栽 管理を行い、希望する市民や団体に苗木の配 布を実施する。地域における緑化活動の助言や 支援を行い、公共的な場所で緑や花を楽しめる よう取り組む。	740	2	b	見直しなが ら続ける	B
緑化推進啓発事業	○	ソフト 任意						
		内部管理・維 持管理						

(ハード事業)

課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類 (転記)		事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
						貢献 度	方向 性	優先度 (ソフト任意)
千塚周辺整備課	○	ハード	H24年度は、健康づくり・学習・交流拠点施設 の基本設計、北群公園の実施設計、用地買収 を実施。有識者、地元代表者等からなる榎原市 新沢千塚古墳群公園施設運営検討協議会を立 ち上げ、各専門部会で案を検討し、協議会で意 見集約し、公園づくりに反映させる。	222,051	1	b	継続する	-
新沢千塚古墳群公園 整備事業								

課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類	事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
					貢献 度	方向性	優先度 (ソフト任意)
都市整備課	ハード	広域避難地としての防災機能の強化や、市民の多様なニーズに沿った特色ある公園整備を推進するとともに、住民が緑ある景観を楽しみながら愛着をもって気軽に利用できるよう公園整備を実施。 総面積 29.4ha 総合プール・硬式野球場・軟式野球場・ソフトボール場・テニスコート・サッカー場・多目的グラウンド・せせらぎ・散策路・屋根付運動場・防災備蓄倉庫・バラ園等整備	42,428	4	b	継続する	-
都市公園事業(檀原運動公園整備事業)							
課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類	事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
都市整備課	ハード	甘樫丘から西へ派生する丘陵の先端南斜面にあり、地形を活かした公園整備を実施する。公園面積2.5haに主な施設として、芝生広場、散策広場、石の遊び場、墳丘、多目的広場等の整備を、文化財課事業と併せて行っていく。 H24年度末時点では5,845㎡を供用開始している。	75,623	1	b	継続する	-
都市公園事業(植山古墳公園整備事業)							
課名及び事務事業名 (転記)	評価の種類	事業の内容(転記)	H24 決算額 (転記)	事務事業評 価での方向 性(転記)	施策評価		
都市整備課	ハード	危険度判定で、改善が必要と判断された遊具等の公園施設を、安全・安心対策緊急総合支援事業計画の承認を受け、順次、更新を実施し、公園の長寿命化を図る。 また、市内35箇所の公園を対象として、公園施設の調査を行なうことで、市内公園施設の長寿命化を図る。	60,780	1	b	継続する	-
都市公園事業(都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業)							

○

ハード事業

P L A N	事務事業名	新沢千塚古墳群公園整備事業							
	担当課名	千塚周辺整備課			課長名	吉川 正巳			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち					
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備					
	予算事業名	新沢千塚古墳群公園整備費							
	事業の開始年度	平成	24	年度	事業の終了予定年度	平成	28	年度	
計 画	事業の 目的	市民の健康増進、交流促進、環境意識の向上や観光振興に寄与するため、新沢千塚古墳群公園の公園整備や周辺施設を整備する。本年度は健康づくり・学習・交流の機能を備えた施設建設に向けた基本設計、公園整備の実施設計を目的とした。		事業の 内容説明 (全体 計画)	H24年度は、健康づくり・学習・交流拠点施設の基本設計、北群公園の実施設計、用地買収を実施。有識者、地元代表者等からなる檀原市新沢千塚古墳群公園施設運営検討協議会を立ち上げ、各専門部会で案を検討し、協議会で意見集約し、公園づくりに反映させる。				
	指標の 推移	名称及び単位等		23年度	24(評価) 年度	25(今) 年度	26(来) 年度	29(総計 目標) 年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	
	活動指標 ①								
	活動指標 ②								
D O 実 施	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	
		歳出 (直接事業費) (a)		32,166	263,575	222,051	475,714	593,531	
		歳入 (b)	受益者負担額						
			国県補助金等その他		4,900	160,100	141,782	430,221	523,000
		(a) - (b) = 一般財源		27,266	103,475	80,269	45,493	70,531	
		正職員	従事者数 (単位:人)		5.00	5.00	5.00	6.00	6.00
			人件費 (c)		31,320	31,015	31,015	37,218	37,218
		トータルコスト (a)+(c)		63,486	294,590	253,066	512,932	630,749	
単位当 りコスト	計算式等								
備考 (これまで の実績等)									
C H E C K 評 価	(費用も含み) 目標(計画)どおり 進んでいるか	1	1 予定どおり	2 概ね予定どおり	3 達成できていない				
		説明	北群公園の実施設計は繰越事業となったが、5月末に完了している。完了後、北群の公園整備工事予定である。拠点施設の基本設計は年度内に完了している。来年度以降、実施設計を行う予定である。						
A C T I O N 修 正 行 動	(費用も含み) この事業の 今後の方向性	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	4 完了する			
		説明	今後も公園整備の方向性を檀原市新沢千塚古墳群公園施設運営検討協議会にかけながら、平成28年度内での新沢千塚古墳群公園整備の完成を目指す。社会資本整備総合交付金の動向を見ながら、年度内での市負担額を鑑みて事業を進めていく。公園の整備、健康づくり・学習・交流拠点施設の建設、集客施設の建設、用地買収等を進めていく予定。						

平成25年度作成 平成24年度事務事業評価表

(作成日:平成25年6月12日)

ソフト事業(義務)		ソフト事業(任意)		○ 内部管理・維持管理事業					
事務事業名	東竹田近隣公園管理運営事業								
担当課名	文化・スポーツ課		課長名	藤井 寛					
総合計画の位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち						
	施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
予算事業名	東竹田近隣公園管理運営費								
事業の開始年度	平成	22	年度	事業の終了予定年度	平成 ー 年度				
対象	近隣住民		事業の内容説明	公園の維持管理 1. 芝生及び樹木の剪定等 2. 修景池及び噴水池の循環施設の維持管理及び清掃 3. 複合遊具・多目的広場・駐車場等の維持管理					
事業の目的	地域住民及び市民の憩いの場・レクリエーションの場として安心して利用できる環境を整え、維持すること。災害時に一時避難場所としても活用していく。								
この事業を行うことは妥当か	なぜ市が関与しているのか	2	1 義務	法律等(条例を除く)で義務付けられた事業					
			2 任意	公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業					
			3 任意	市が関与することは妥当でない(縮小、廃止又は民営化すべき)事業					
	説明	近隣住民のための施設であり、公共性が高いため。							
やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 ある程度はある	3 克服できる範囲内	4 ほとんどない				
		説明	公園の閉鎖						
D O 実施	指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度	25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標	-							
	活動指標①	-							
	活動指標②	-							
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算	見込み
		歳出(直接事業費)(a)			2,513	3,292	3,063	2,839	6,094
		歳入(b)	受益者負担額						
			国県補助金等その他						
		(a) - (b) = 一般財源			2,513	3,292	3,063	2,839	6,094
正職員		従事者数(単位:人)		0.80	1.00	1.00	0.55	0.55	
		人件費(c)		5,011	6,203	6,203	3,412	3,412	
トータルコスト(a)+(c)			7,524	9,495	9,266	6,251	9,506		
単位当たりコスト	計算式等								
備考(これまでの実績等)	平成25年度に当課へ移管され現地職員総数が減ったことから、修景池の掃除ができず、平成26年度見込みの委託料が630千円増加している。また、公園の管理上監視カメラが必要なため、設置費用が増加している。								

CHECK 評価	有効性 評価 事業は 有効か (指標に 出ない 効果)	成果は 向上して いるか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	設備や植栽等を整備することにより、住民が安心して利用できる環境を整えることが出来た。						
	上位施策 への貢献 度はどう か	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	休日だけでなく平日においても多くの利用者があり、緑豊かな憩いの場を提供出来ている。						
評価	効率性評価	1	1 全くできない	2 あまりできない	3 少しはできる	4 大きくできる			
	経費削減は可能か	説明	維持管理に要する費用は年々増加する傾向にあるが、的確な維持管理をすることにより、増加する費用を抑えられる可能性はある。						
ACTION	具体的にどうする ことにより(手段)	市内全体の公園との一体的な維持管理もしくは、自治会・ボランティア・NPO等市民との協働により、維持管理に要する費用は抑えられる可能性があると考えます。							
	どんなことが期待 できるか(効果)								
修正 行動	(費用も含み) この事業の 今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながら続ける	3 縮小する	課内 優先 度	-		
		説明	4 廃止又は休止する	5 完了する		関係各所と協議しながら今後の維持管理について検討するが、当面の予算や従事者数は維持する必要がある。			

○ ハード事業

P L A N	事務事業名	都市公園事業(檀原運動公園整備事業)							
	担当課名	都市整備課			課長名	黒岩友治			
	総合計画の位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち					
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備					
	予算事業名	都市公園事業費							
	事業の開始年度	昭和	52	年度	事業の終了予定年度	平成	25	年度	
計 画	事業の目的	檀原市における唯一の総合公園として、市民の日常的スポーツ施設とレクリエーション施設を有する公園として整備し、また、広域避難地としての防災機能を持つ総合公園として整備を実施する。		事業の内容説明(全体計画)	広域避難地としての防災機能の強化や、市民の多様なニーズに沿った特色ある公園整備を推進するとともに、住民が緑ある景観を楽しみながら愛着をもって気軽に利用できるよう公園整備を実施。 総面積 29.4ha 総合プール・硬式野球場・軟式野球場・ソフトボール場・テニスコート・サッカー場・多目的グラウンド・せせらぎ・散策路・屋根付運動場・防災備蓄倉庫・バラ園等整備				
	指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度	25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	
活動指標①	檀原運動公園 整備進捗面積(ha)		27.9	29.0	28.5	29.4	29.4	29.4	
活動指標②	檀原運動公園 用地買収進捗面積(ha)		29.3	29.4	29.3	29.4	29.4	29.4	
D O 実 施	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	
		歳出(直接事業費)(a)		131,935	63,576	42,428	2,042	5,443	
		歳入(b)	受益者負担額						
			国県補助金等その他		57,470	28,400	18,996	0	0
		(a) - (b) = 一般財源		74,465	35,176	23,432	2,042	5,443	
		正職員	従事者数(単位:人)		1.30	1.05	1.30	1.25	1.25
			人件費(c)		8,143	6,513	8,064	7,754	7,754
		トータルコスト(a)+(c)		140,078	70,089	50,492	9,796	13,197	
単位当たりコスト	計算式等								
備考(これまでの実績等)									
C H E C K 評 価	(費用も含み)目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定どおり	2 概ね予定どおり	3 達成できていない				
		説明	事業認可期間が今年度で終了するため、耐震性貯水槽の設置及び修景池の整備を進め、広域避難地としての防災機能の強化を図る。また、未供用エリアの供用を開始し、事業を完了する。						
A C T I O N 修 正 行 動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	4	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	4 完了する			
		説明	今年度で事業認可期間が終了するため、今後は、市民の多様化するニーズを把握し、施設の更新にシフトしてより親しみのある、安全・安心な公園を目指していきたい。						

○

ハード事業

P L A N	事務事業名	都市公園事業(植山古墳公園整備事業)							
	担当課名	都市整備課			課長名	黒岩友治			
	総合計画の位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち					
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備					
	予算事業名	都市公園事業費							
	事業の開始年度	平成	15	年度	事業の終了予定年度	平成	26	年度	
計 画	事業の目的	本公園は、地域住民が日常的に利用できる公園整備を行うと同時に、植山古墳の持つ学術的・文化的価値を修復・復元整備することで、観光客誘致も視野に入れた近隣公園として整備する。		事業の内容説明(全体計画)	甘樫丘から西へ派生する丘陵の先端南斜面にあり、地形を活かした公園整備を実施する。公園面積2.5haに主な施設として、芝生広場、散策広場、石の遊び場、墳丘、多目的広場等の整備を、文化財課事業と併せて行っていく。H24年度末時点では5,845㎡を供用開始している。				
	指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度		25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
活動指標①	植山古墳公園 進捗面積(ha)		0.81	0.96	0.81	1.06	2.50	2.50	
活動指標②	植山古墳公園 用地買収進捗面積(㎡)		10,145	10,974	10,974	10,974	10,974	10,974	
D O 実 施	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	
		歳出(直接事業費)(a)		79,638	100,405	75,623	59,293	121,292	
		歳入(b)	受益者負担額						
			国県補助金等その他		26,374	37,183	24,783	29,000	60,000
		(a) - (b) = 一般財源		53,264	63,222	50,840	30,293	61,292	
		正職員	従事者数(単位:人)		0.70	0.85	0.35	0.30	0.30
			人件費(c)		4,385	5,273	2,171	1,861	1,861
		トータルコスト(a)+(c)		84,023	105,678	77,794	61,154	123,153	
単位当たりコスト	計算式等								
備考(これまでの実績等)									
C H E C K 評 価	(費用も含み)目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定どおり	2 概ね予定どおり	3 達成できていない				
		説明	H24年度においては、国からの補助金の関係で進捗状況は遅延気味であったが、文化財課との調整会議を行い、今後の事業の方向性を定めた。H25年度は未供用エリア南部分において、園路舗装工・修景施設工を施工していく予定である。						
A C T I O N 修 正 行 動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	4 完了する			
		説明	H26年度の事業認可期間中の完了を目指し事業を進めているが、進捗状況は遅れ気味であり、認可の更新も視野に入れ事業を実施していきたい。						

○

ハード事業

P L A N  計 画	事務事業名	都市公園事業(都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業)							
	担当課名	都市整備課			課長名	黒岩友治			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち					
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備					
	予算事業名	都市公園事業費							
	事業の開始年度	平成	20	年度	事業の終了予定年度	平成	25	年度	
事業の目的	市内公園のバリアフリー化や施設長寿命化に向けて、公園施設の整備を進める。また、魅力的かつ安全で安心な公園整備を図ることにより、地域住民が交流を深める場としてのまちづくりを推進するために、市内公園施設の長寿命化を図る。			事業の内容説明 (全体計画)	危険度判定で、改善が必要と判断された遊具等の公園施設を、安全・安心対策緊急総合支援事業計画の承認を受け、順次、更新を実施し、公園の長寿命化を図る。また、市内35箇所の公園を対象として、公園施設の調査を行なうことで、市内公園施設の長寿命化を図る。				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度	25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	
	活動指標①	公園改修面積(ha)		1.32	1.92	1.92	6.90	6.90	
	活動指標②								
D O 実 施	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	
		歳出(直接事業費)(a)		48,049	60,345	60,780	21,392	100,392	
		歳入(b)	受益者負担額						
			国県補助金等その他		23,763	30,000	30,203	0	50,000
		(a) - (b) = 一般財源		24,286	30,345	30,577	21,392	50,392	
		正職員	従事者数(単位:人)		0.60	0.75	1.00	1.25	1.25
			人件費(c)		3,758	4,652	6,203	7,754	7,754
		トータルコスト(a)+(c)		51,807	64,997	66,983	29,146	108,146	
単位当たりコスト	計算式等								
備考 (これまでの実績等)									
C H E C K 評 価	(費用も含み)目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定どおり	2 概ね予定どおり	3 達成できていない				
		説明	事業期間中の完了を目指し進めているが、事業の進捗状況は若干遅れ気味である、H25年度は公園施設長寿命化計画の策定と並行して市内公園施設の更新を行っていく。						
A C T I O N 修 正 行 動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	4 完了する			
		説明	檀原市公園内施設長寿命化計画をもとに、公園施設を順次、更新していきたい。						

平成25年度作成 平成24年度事務事業評価表

(作成日:平成25年6月6日)

○		ソフト事業(義務)	ソフト事業(任意)	内部管理・維持管理事業							
PLAN 計画	事務事業名	榎原運動公園管理運営事業									
	担当課名	都市整備課			課長名	黒岩 友治					
	総合計画の位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち							
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備							
	予算事業名	運動公園管理運営費									
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
	対象	公園利用者(市民及びスポーツ施設利用者・レジャー客等)			事業の内容説明	指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウによる運営・サービス向上及び自主事業を実施することでスポーツの振興等を図る。					
	事業の目的	榎原市における唯一の総合公園として、市民の日常的スポーツ施設とレクリエーション施設を管理運営し、市民活動の場を提供する。									
	妥当性評価 この事業を行うことは妥当か	なぜ市が関与しているのか	1	1 義務	法律等(条例を除く)で義務付けられた事業						
				2 任意	公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業						
3 任意				市が関与することは妥当でない(縮小、廃止又は民営化すべき)事業							
	説明	都市公園法第二章「都市公園の設置及び管理」に都市公園の管理は設置者が行うとされており、都市公園の計画的な整備の促進及び管理の適正化と公共の福祉の増進に資することが義務付けられている。									
やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 ある程度はある	3 克服できる範囲内	4 ほとんどない						
		説明	市民に定着した数多くの施設に加え、防災設備も有し、榎原市にとってかけがえのない施設である。								
DO 実施	指標の推移	名称及び単位等			23年度	24(評価)年度		25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標	—			—	—	—	—	—	—	
	活動指標①	—			—	—	—	—	—	—	
	活動指標②	—			—	—	—	—	—	—	
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算	見込み		
		歳出(直接事業費)(a)			67,452	63,508	63,890	65,216	65,216		
		歳入(b)	受益者負担額								
			国県補助金等その他			158					
		(a) - (b) = 一般財源			67,294	63,508	63,890	65,216	65,216		
正職員		従事者数(単位:人)			0.75	1.00	1.00	0.90	0.90		
		人件費(c)			4,698	6,203	6,203	5,583	5,583		
トータルコスト(a)+(c)			72,150	69,711	70,093	70,799	70,799				
単位当たりコスト	計算式等										
備考(これまでの実績等)											

CHECK 評価	有効性 評価 事業は 有効か (指標に 出ない 効果)	成果は 向上して いるか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い	
		説明	指定管理者制度導入により、多様な市民のニーズに応え、コスト削減に向けた経営が行われている。					
	上位施策 への貢献 度はどう か	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	檀原市唯一の総合公園としての役割は大きい。					
評価	効率性評価	2	1 全くできない	2 あまりできない	3 少しはできる	4 大きくできる		
	経費削減は可能か	説明	指定管理者制度の導入効果により、利用促進、維持管理整備の充実がはかられ、効率的なサービス提供が期待できる。					
ACTION	具体的にどうすることにより(手段)	指定管理者による公園運営管理の経営ノウハウの向上により、効率的な運営が財政効果をもたらすことが期待できる。						
	どんなことが期待できるか(効果)							
修正行動	(費用も含み) この事業の 今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながら続ける	3 縮小する	課内 優先 度	-	
		4 廃止又は休止する	5 完了する					
	説明	運動公園のさらなる充実を目指し、創意工夫を凝らした管理運営を行う。						

平成25年度作成 平成24年度事務事業評価表

(作成日:平成25年6月6日)

○ ソフト事業(義務)		ソフト事業(任意)		内部管理・維持管理事業					
事務事業名	児童公園管理事業								
担当課名	都市整備課		課長名	黒岩 友治					
総合計画の位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち						
	施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
予算事業名	児童公園管理費								
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成 — 年度				
対象	公園利用者		事業の内容説明	市内238ある公園・緑地等の草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検、修理等を実施する。また、地元自治会と公園管理協定をすることで日常の簡易な清掃・草引き等を、地元自治会等で取り組んでいただき、市民と協働して公園の維持管理を行う。					
事業の目的	誰もが安心して遊べる公園、また災害時の避難場所としての役割を持つ公園を、地域コミュニティーの場として機能させる。								
妥当性評価 この事業を行うことは妥当か	なぜ市が関与しているのか	1	1 義務	法律等(条例を除く)で義務付けられた事業					
			2 任意	公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業					
3 任意	市が関与することは妥当でない(縮小、廃止又は民営化すべき)事業								
	説明	都市公園法第二章「都市公園の設置及び管理」に都市公園の管理は設置者が行うとされており、都市公園の計画的な整備の促進及び管理の適正化と公共の福祉の増進に資することが義務付けられている。							
	やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 ある程度はある	3 克服できる範囲内	4 ほとんどない			
		説明	公園の安全が維持できず、管理責任を果たせない。						
DO 実施	指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度	25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標	—		—	—	—	—	—	
	活動指標①	公園管理協定締結公園数		162	166	163	166	169	
	活動指標②	—		—	—	—	—	—	
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算	見込み
		歳出(直接事業費)(a)			77,136	65,877	65,998	64,365	64,365
		歳入(b)	受益者負担額						
			国県補助金等その他		11,148	851	851	851	851
		(a) - (b) = 一般財源			65,988	65,026	65,147	63,514	63,514
正職員		従事者数(単位:人)		2.60	3.80	3.80	3.50	3.50	
		人件費(c)		16,286	23,571	23,571	21,711	21,711	
トータルコスト(a)+(c)			93,422	89,448	89,569	86,076	86,076		
単位当たりコスト	計算式等								
備考(これまでの実績等)									

CHECK 評価	有効性 評価 事業は有効か (指標に出ない効果)	成果は向上しているか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	効率的でバランスの取れた管理によって、住民ニーズへ効果的に対応している。						
	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	市民にとって身近な憩いの場として機能している。						
評価	効率性評価	2	1 全くできない	2 あまりできない	3 少しはできる	4 大きくできる			
	経費削減は可能か	説明	開発公園等の新設などにより、公園数は増加していることから、維持管理コストの低減は困難である。						
ACTION	具体的にどうすることにより(手段)	管理手法の手順を整理し、体系化をはかることにより、効率的な管理体制が構築され、安全安心な公園を維持できる。							
	どんなことが期待できるか(効果)								
修正行動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながら続ける	3 縮小する	課内優先度	-		
		説明	4 廃止又は休止する	5 完了する	長期的な公園管理を計画立てることを念頭に、自治会、ボランティア団体、NPO法人等との協働による管理体制を推進し、住民に広く親しまれるよう、側面的あるいは補完的支援に取り組む。				

平成25年度作成 平成24年度事務事業評価表

(作成日:平成25年6月6日)

ソフト事業(義務)		○		ソフト事業(任意)		内部管理・維持管理事業				
事務事業名	緑化推進啓発事業									
担当課名	都市整備課			課長名	黒岩 友治					
総合計画の位置付け	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち							
	施策	7	緑豊かな憩いの場の整備							
予算事業名	緑化推進事業費									
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
PLAN 計画	対象	市民、地元自治会等					事業の内容説明	緑化樹養成所において、苗木の育成及び、植栽管理を行い、希望する市民や団体に苗木の配布を実施する。地域における緑化活動の助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花を楽しめるよう取り組む。		
	事業の目的	市民に対し、緑化することの大切さをアピールし、個人や地域に自発的な緑化の取り組みを促し、環境保全、緑化推進を図る。								
この事業を行うことは妥当か	なぜ市が関与しているのか	2	1 義務	法律等(条例を除く)で義務付けられた事業						
			2 任意	公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業						
			3 任意	市が関与することは妥当でない(縮小、廃止又は民営化すべき)事業						
	説明	緑化の効果は、広く地域の環境にもたらされるため、公の立場でその啓発にあたるのが望ましいと考えられる。								
やめた場合の影響は	3	1 非常に大きい	2 ある程度はある	3 克服できる範囲内	4 ほとんどない					
		説明	緑豊かで低炭素なまちづくりの推進をはかる行政の姿勢が問われる懸念がある。							
DO 実施	指標の推移	名称及び単位等		23年度	24(評価)年度		25(今)年度	26(来)年度	29(総計目標)年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標	—		—	—	—	—	—	—	
	活動指標①	花苗、苗木、種子等配布団体数		—	—	—	8	10	16	
	活動指標②	—		—	—	—	—	—	—	
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算	見込み	
		歳出(直接事業費)(a)			896	934	740	271	271	
		歳入(b)	受益者負担額							
			国県補助金等その他			69	75	59		
		(a) - (b) = 一般財源			827	859	681	271	271	
正職員		従事者数(単位:人)			0.40	0.50	0.50	0.40	0.40	
		人件費(c)			2,506	3,102	3,102	2,481	2,481	
トータルコスト(a)+(c)			3,402	4,036	3,842	2,752	2,752			
単位当たりコスト	計算式等									
備考(これまでの実績等)										

CHECK 評価	有効性 評価 事業は有効か (指標に出ない効果)	成果は向上しているか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い					
		説明	地道な取り組みであるため、著しい成果の向上はない。									
	効率性評価 経費削減は可能か	上位施策への貢献度はどうか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い					
		説明	緑化推進の啓発によって、意識の向上をうながし、やがて地域に緑化をもたらすことが目的であるが、高い貢献度は望めない。									
ACTION	具体的にどうすることにより(手段)	3	1 全くできない				2 あまりできない		3 少しはできる		4 大きくできる	
	どんなことが期待できるか(効果)		緑化養成所の維持管理委託契約を更新せず、必要最小限で市による直接管理とすることで、費用の削減効果が得られる。									
修正行動	(費用も含み)この事業の今後の方向性	2	1 拡大する		2 見直しながら続ける		3 縮小する		課内優先度	C		
			4 廃止又は休止する		5 完了する							
説明		地域における緑化活動に対し積極的に助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花が楽しめるよう取り組み、地域と行政が協働による緑化推進をはかる。										